

「第三回 古町花街展『花街の景観と文化財』」

令和5年9月5日(火)～10月29日(日)

開館時間:9時30分～18時(10月は17時閉館)

「第三回 古町花街展『花街の景観と文化財』」取材・広報協力をお願い

このたび、旧齋藤家別邸にて、企画展「第三回 古町花街展『花街の景観と文化財』」を開催いたします。

下記の実施要項にて記事・番組等でとりあげていただきたくお知らせさせていただきました。取材等のお問い合わせについては、事前に下記までご連絡いただけますと幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

【実施要項】

名称	第三回 古町花街展『花街の景観と文化財』
主催	新潟市旧齋藤家別邸
期日	令和5年9月5日(火)～10月29日(日) ※月曜日は休館 開館時間:9時30分～18時(10月は17時閉館)
会場	旧齋藤家別邸・土蔵
展示内容	<p>花街には、日本舞踊や純邦楽、着物、書画骨董、日本料理、伝統建築、日本庭園など、有形無形の日本の伝統文化が包括的に継承されています。そうした伝統文化の中には料亭やお茶屋、置屋などの花街建築や歴史的景観も含まれています。</p> <p>今年の古町花街展は、古町花街に今も残る「文化財」と言える花街建築と、それらを中心に形成された風情漂う「花街景観」をテーマとします。最盛期である大正期から現在までの花街建築や景観の写真、そして書き残された往時の記録を展示します。</p> <p>本展覧会を通して、現代に継承される花街の文化財や景観の魅力を味わっていただければ幸いです。</p>
問い合わせ	新潟市旧齋藤家別邸(担当:久保) 【住所】〒951-8104 新潟市中央区西大畑町576番地 【電話】025-210-8350 【FAX】025-210-8360 【ホームページ】 http://saitouke.jp 【メール】 post@saitouke.jp

第三回 古町花街展

花街の景観

と文化財



2023年 9/5(火) ▶ 10/29(日)

会場：旧齋藤家別邸(新潟市中央区西大畑町576)

観覧料：一般300円 小中100円

開館時間：<9月>午前9時30分～午後6時

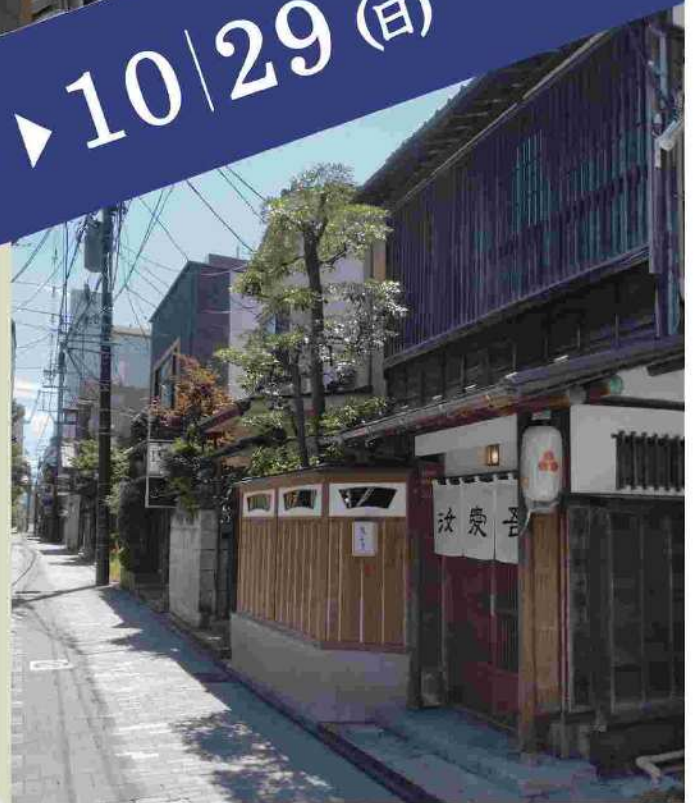
<10月>午前9時30分～午後5時

[休館日：月曜日、祝・休日の翌日]

お問合せ：025-210-8350

主催：旧齋藤家別邸

協力：新潟三業協同組合(新潟市料理業組合・新潟芸妓置屋組合)、柳都振興株式会社
古町花街の会、新潟大学都市計画研究室



関連イベントについては裏面を参照)

第三回 古町花街展

花街の景観と文化財

花街には、日本舞踊や純邦楽、着物、書画骨董、日本料理、伝統建築、日本庭園など、有形無形の日本の伝統文化が包括的に継承されています。そうした伝統文化の中には料亭やお茶屋、置屋などの花街建築や歴史的景観も含まれています。

今年、古町花街展は、古町花街に今も残る「文化財」と言える花街建築と、それらを中心に形成された風情漂う「花街景観」をテーマとします。最盛期である大正期から現在までの花街建築や景観の写真、そして書き残された往時の記録を展示します。本展覧会を通して、現代に継承される花街の文化財や景観の魅力を味わっていただければ幸いです。



〈お座敷入門講座〉

料亭で芸妓を呼び「お座敷」を開くことは、一般には縁遠いものと思われがちです。しかし、実はその開催方法や楽しみ方は多様であり、老若男女問わず楽しむことのできる懐の深い世界です。この講座では、お座敷の様々な魅力や楽しみ方、基本的なマナー、予約の仕方などをご紹介します。

日時：9月17日(日) 10:30～12:00
会場：旧齋藤家別邸
定員：20名
参加費：500円(観覧料別)
講師：久保有朋(旧齋藤家別邸 学芸員、古町花街の会 事務局長)
お申込：025-210-8350(旧齋藤家別邸)
申込み開始日：9月6日(水)

〈花街深掘り講座〉

① 花街の建物と文化財

日時：9月30日(土) 10:30～12:00

花街を構成する花街建築の多くは数寄屋風建築であり、高い文化財的価値を有しています。全国の事例を基に、その価値や特徴を紹介します。

② 料亭型花街と茶屋型花街

日時：10月21日(土) 10:30～12:00

花街は、料亭中心の「料亭型」と茶屋中心の「茶屋型」に大別できると考えられます。全国の事例を基に、その業態や外観上の違いを紹介します。

会場：旧齋藤家別邸
定員：各回20名
講師：久保有朋(同上)
参加費：各回500円(観覧料別)
お申込：025-210-8350(旧齋藤家別邸)
申込み開始日：9月6日(水)

〈古町花街〉

花街は、日本舞踊や純邦楽、茶道、書画骨董、日本庭園、数寄屋建築等の有形無形の様々な日本文化を包括的に継承する稀有な場であり、「最後の純和風空間」とも評されます。現在も一定規模の花街は全国に60地区ほどありますが、昭和初期には500地区を超えて存在しました。古町花街は全国でも比較的規模の大きい現役の花街であり、歴史的町並みが残る伝統的料亭街としては全国随一です。



国登録有形文化財「行形亭」



国登録有形文化財「瓢亭」



国登録有形文化財「鍋茶屋」